

豊かな自然と災害の脅威

森林が持つ持続可能な機能を発揮するために



北摂山地は、古い地層(丹波層群)の上に新しい地層(大阪層群)が不揃いにのっており、南北に割れ目も多く、急斜面を流れてきた川が深いV字谷を刻んでいます。

V字谷にある箕面大滝や箕面の森には多くの人々が訪れ、親しまれています。

豊かな自然が残された箕面の森は、自然の恵みを与えてくれる一方で、その地形や地質、気候変動の影響により、斜面の崩落や倒木被害が多発するなど、自然災害も近年、顕著になっています。

持続可能な森の生態系の機能をうまく活用することが、防災や減災にも寄与すると期待されています。

きのこは 森の掃除屋さん。持続可能な森林の生態系を支えています。

植物は二酸化炭素と水、太陽の光を使って養分を作る「生産者」、動物は植物から栄養を得て、酸素を吸って生きる「消費者」。地球上が枯れた植物や動物の死がいや糞だらけにならないのは、きのこを含めた菌類(分解者)がいるからです。菌類などがもとの土にもどして植物が再利用する持続可能な仕組みです。

箕面の森では、雨が降ったあとに、たくさんのきのこを見ることができます。下の写真は、秋から晩秋にかけて見かけるきのこたちです。ゆっくり森を歩きながら、きのこを観察してみませんか！



ナラタケ



スギヒラタケ



シジミタケ



カンゾウタケ



オオツルタケ



ツチグリ



エノキタケ



ヒラタケ

明治の森箕面国定公園(大日駐車場前) 箕面国有林の復旧事業

2017・18年の台風21号による影響で、箕面大滝の上、大日駐車場前の箕面川沿い斜面一帯で、スギ・ヒノキの人工林が風で倒れました。土砂の流出や斜面の崩落の恐れがあり、対策が求められていましたが、林野庁近畿中国森林管理局京都大阪森林管理事務所により、被害地の風倒木の整理及びヘリコプターによる搬出作業が行われました。その後、上流部と下流部に分けての復旧事業が行われました。



上流部では、防鹿ネットを張った中に、地域性樹種1,120本(イロハモミジやエノキなど)の植樹を行いました。更に急傾斜な下流部の斜面では、土留めのための鋼製柵を設置し、シカなどの獣害から防護する柵を設置し、景観に配慮するためにイロハモミジやヤマザクラやウツギなど200本を植栽しました。柵外での植栽については、単木用の獣害保護工を行い、2020年8月に復旧事業が完了しました。



鋼製柵(土砂流出防止)

植栽保護(単木保護)

獣害防護柵

イロハモミジの植栽

明治の森箕面国定公園(箕面公園/滝道) 大阪府有林の復旧事業

箕面公園(滝道)でも、2017年10月台風21号の影響により、石子詰付近の斜面の土砂崩れが発生し、観光シーズンにもかかわらず約1年間滝道が通行止めになるなど、大きな被害を受けました。

大阪府池田土木事務所では、倒木を撤去するとともに、被害を受けた斜面地では、特殊な工法(ユニットネット工法)を採用し、滝道の景観や自然公園の環境に配慮した復旧工事を行いました。



その後も、散策路や斜面の倒木処理、植樹などが行われています。川の中の倒木は、重機による撤去が難しいのですが、斜面のネットの張替えなどとあわせて、この冬の施工が計画されています。

明治の森箕面国定公園(こもれびの森) 箕面市有林の復旧事業

「こもれびの森」でも、2017年10月台風21号の影響により、谷筋南斜面3ヶ所の多くでスギ・ヒノキの人工林の倒木が発生し、大きな被害を受けました。

2018年から大阪府北部農と緑の総合事務所が、作業道を作り重機を入れて風倒木を搬出し、増えすぎたシカに発芽した実生を食べられないよう、防鹿用の金柵を被害地周辺に設置しました。

「こもれびの森」は「生活環境保全林」に指定されています。市民に憩いの場を提供する「保健健康林」の機能とあわせて、自然災害を防止する「土砂災害防備保安林」の機能を持った森づくりが求められています。



箕面国有林の森林整備事業に期待される 森林が持つ多面的機能の発揮



箕面市の面積の60%を占める森林面積(2,781ha)の内、民有林(公有林と私有林)は2,205haです。市域の民有林に占めるスギ・ヒノキなどの人工林は402ha。人工林比率は約18%であり、他地域と比較すると低い数値です。

中央部に位置する明治の森箕面国定公園(963ha)では、約590ha(61%)が国有林です。※府有林(箕面公園)11%、市有林(こもれびの森)6%、寺有林4%、私有林18%

国有林の全域が「明治の森箕面自然休養林」に指定されており、大阪都心からの交通の便が良いことから、府営箕面公園(84ha)や山麓部(380ha)とあわせた箕面の森には、新緑や紅葉シーズンをピークとして、年間200万人が利用しているといわれています。

林野庁では、箕面国有林を「森林空間タイプ」と位置付けており、「レクリエーションの森」としての保健休養機能の他、間伐などの実施による水源涵養機能を発揮を目指しています。

国有林における人工林(414ha)比率は77%であり、多くが間伐が必要となる40~50年生前後の年齢となっています。

森林の持つ多面的機能を最大限に発揮させるため、箕面国有林では、約176haの間伐などを実施する計画になっています。

間伐の実施においては、増えすぎたシカによる食害が懸念されますが、災害に強い森づくりが進むことが期待されます。



「こもれびの森」の森づくりの活動にご協力をお願いします！



植樹イベントの開催

2021年3月14日(日)※予定

○植樹計画

コバノミツバツツジ・ヤマザクラ・クヌギなど

○費用・・・約900千円

園芸業者への委託費、シカ除けネットなど

○財源

公益財団法人夢&環境宮崎基金・・・500千円

市民から寄せられた募金・・・400千円

周辺の母樹からの種子散布による植生の復活が期待されますが、裸地のまま放置すれば、近年増えている豪雨の影響で土砂の流出や斜面の崩壊の恐れがあります。今年の3月には、防鹿柵の中にイロハモミジ50本、ハイキング道沿いにクヌギなど30本に単木用の保護ネットを付けて植樹をしました。

来年の3月には、コバノミツバツツジ50本、ヤマザクラ50本などの植樹を予定しています。森が復活するまでには何年もかかると思いますが、多くの市民の皆さまのご協力をお願いします。

山林整備ボランティアの活動にご協力をお願いします！



山林所有者だけでは維持管理が困難

山麓部の山の大半は「私有林」です。昔は里山として利用されていましたが、今は経済的な価値がなくなり利用されていません。

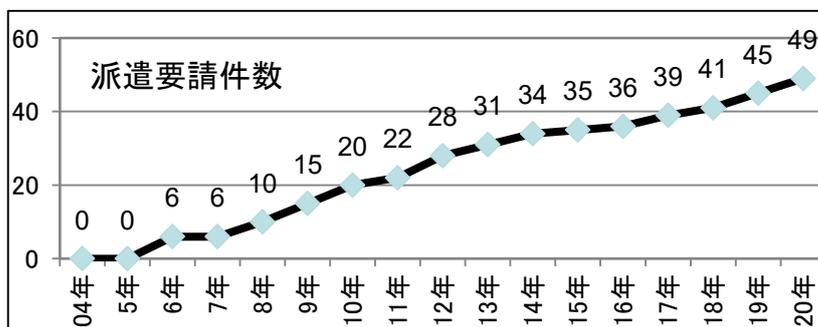
山の維持管理には多大な労力と経済的な負担がともない、山林所有者だけでは維持管理ができません。

毎年増えているボランティア派遣の要請

遠隔地に住んでいることや高齢により山に行けないことなどから、ボランティアへの派遣要請が毎年増えており、2019年度は、45件の要請があり、400人/日のボランティアが山林整備を行いました。

山林整備ボランティアの募集

11月からの冬の期間に、山林整備を行っているボランティアを募集しています。山麓保全委員会事務局までご連絡をお願いします。

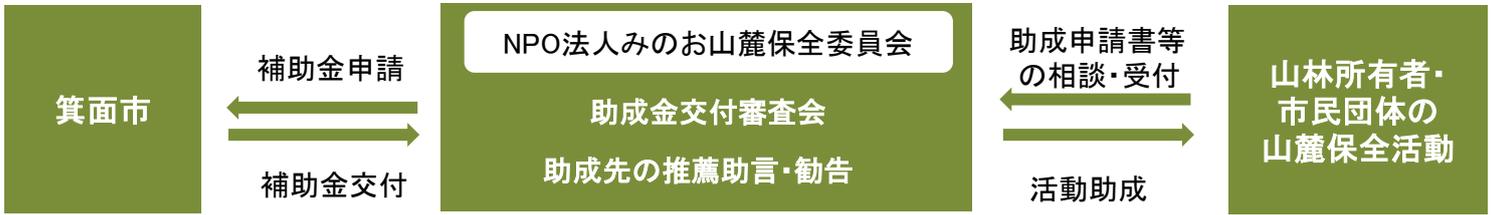


持続的な仕組みによる 山麓保全活動の着実な推進

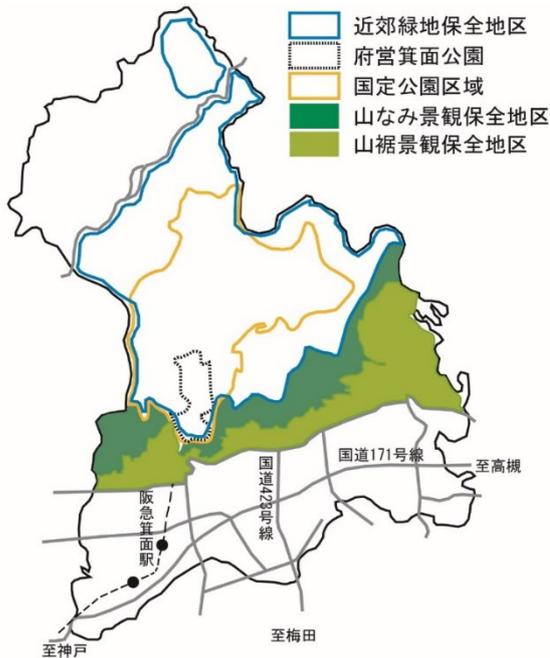
りそな銀行を受託者として運用してきた公益信託「みのお山麓保全ファンド」は事業継続が困難となり、2020年度から、箕面市から補助金を受けて、山麓保全委員会を通じた直接助成に切り替わりました。

山麓保全委員会が独自で行う保全活動、及び山林所有者や市民団体に助成金を交付して実施する山麓保全活動など、山麓部の緑を守る取り組みを継続して、着実に推進します。

《みのお山麓保全活動助成金の仕組み》



「山なみ景観保全地区」美しい山なみは箕面の大切な財産です。



四季折々に美しい箕面の山なみは、私たちの生活に潤いと安らぎを与えてくれます。

また、動物の生息空間、雨水・地下水の涵養、洪水などの災害の防止、大気の浄化など、豊かな自然に恵まれた山の恩恵は、はかりしれないものがあります。

市民アンケートでは、約98%の市民が「箕面の山麓の緑守って行くべき」と答えています。

箕面市では、「箕面市都市景観条例」を施行し、1998年に、市街地から眺めることのできる北摂山系の重要な区域を「山なみ景観保全地区」として指定しました。

「山なみ景観保全地区」約380haの約80%は、私有地であり、山林所有者にとっては、「山の維持管理には多大な労力や経済的負担がともなうこと」が改めて確認されました。

山麓保全のためには、行政を含めた市民ぐるみの具体的な施策を展開をすることが必要であり、山林所有者・市民・行政の三者協働による山麓部の保全に向けた市民の自主的な取り組みが行われています。



■NPO山麓保全委員会は、6月28日に第19回定期総会を開き、2019年度事業報告・決算報告、2020年度事業計画・活動予算及び下記の役員選任案が承認されました。
 理事：角山年昭、成瀬英夫、村上竜太、中瀬重幸、鹿島幸子、中川弘佳、永浜久美恵、西野俊治（以上、再任）、監事：山内一浩（再任）※理事の近藤万里、松木亮さんが退任
 総会終了後の理事会で代表、副代表が互選されました。代表理事：角山年昭（再任）
 副代表理事：成瀬英夫、村上竜太（以上、再任）、事務局長：高島文明（再任）

NPO法人 みのお山麓保全委員会

〒562-0001箕面市箕面6-3-1 みのおサンプルザ1号館2階211号室

電話&FAX: 072-724-3615 携帯電話: 090-1133-3615

メール: yama-nami@yama-nami.net

ホームページ: www.yama-nami.net (検索: 山なみネット)

* 箕面の山麓保全情報のポータルサイト「みのお山なみネット」

